

国内初

明電舎と日水コン、IoTにより社会インフラを革新し、より快適な都市生活へ!

## IoTを活用した「都市型水害監視サービス」を 7月6日(水)より展開スタート!

ゲリラ豪雨などによる都市浸水対策(内水氾濫)に役立つ、下水道管きよ内の水位上昇を、国土交通省のXRAINを活用した明電舎と日水コンのクラウドサービスが、リアルタイムにチェック! 国内初、上空と地下の情報から都市型水害を予知、周知して街を見守ります!

～ プレスリリース ～

株式会社明電舎(代表取締役社長:浜崎祐司/東京都品川区)は、より快適な社会生活に貢献すべく、下水道管内の状態をインターネットによってクラウドサーバーにつなげ、ゲリラ豪雨などによる都市浸水対策に役立つIoTサービス「都市型水害監視サービス」を、株式会社日水コン(代表取締役社長:野村喜一/東京都新宿区)と共同で、7月6日(水)より事業展開します。

本サービスは、自治体における防災上のソフト対策向けの適用を目指したクラウド型ソリューションサービスです。降雨情報は、国土交通省のXRAIN(XバンドMPレーダネットワーク)から、下水道管きよ内の水位情報は、マンホールに取り付けたセンサーから情報を取り、これらをGIS(地理情報システム)と連携させ「防災上必要な情報」をリアルタイムに提供します。

本サービスの特長は、下水道管路の水位などこれまでの管理が難しかった情報をIoT技術により可視化できたことです。クラウド上で情報を共有化することで、防災情報の一元化をし、防災プラットフォームの構築を行い、降雨・水位などの情報をストックをすることで、防災支援をいつでもどこでもすることが可能です。

この監視サービスを展開する背景は次の通りです。

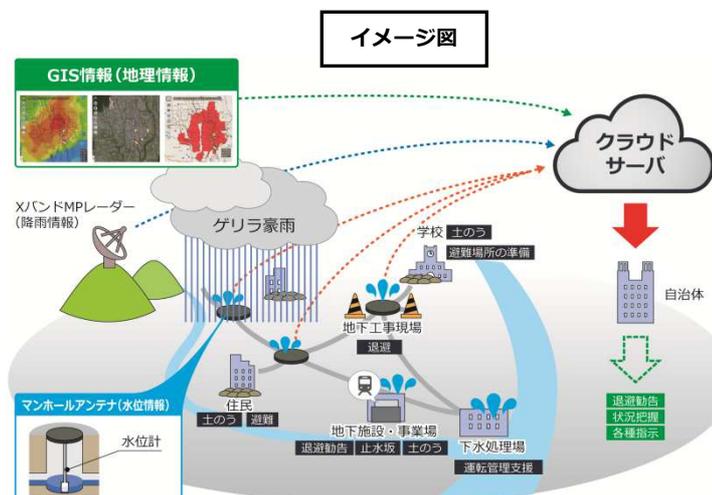
- 気象変化により、短時間での局地的豪雨とそれに伴う都市浸水が増加。**  
 1時間降水量50mm以上の年間発生回数(※)が、1976～1984年までは平均176回だったのに対して、2005～2014年では平均229回と1.3倍に増加しており、都市型水害に対するハード&ソフト両面からの対策が求められています。  
 (※気象庁「アメダスで見た短時間強雨発生回数の長期変化について」より)
- 「水防法等(※)の一部を改正する法律」が施行されました。**  
 近年、いわゆるゲリラ豪雨などの大雨による都市部での浸水被害が多発し、住民生活や社会経済活動に影響をきたしています。これら都市型水害に対して、国は水防法等の法整備により、ハード面では雨水貯留施設の整備など、ソフト面では浸水被害の危険を周知するなどの取り組みを制度化し、雨水管理のスマート化に向けた取り組みを推進しています。  
 (※2015年5月20日に公布、7月19日に水防法施行、11月19日に関連する下水道法等を施行)

今後は、近年増加傾向にある、都市型水害対策として当監視サービスの普及促進を図るだけでなく、長年の経験に培われた当社のセンシング技術、電気機器メーカーとしてのIoT技術を応用し、風雨災害・土砂災害等の被害軽減にも取り組みます。

明電グループは、来年創業120年を迎えます。社会インフラを支える企業として、より豊かな未来をひらくため、今後もIoT・ICTを活用した安心安全なまちづくりのお手伝いを行ってまいります。

### ◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

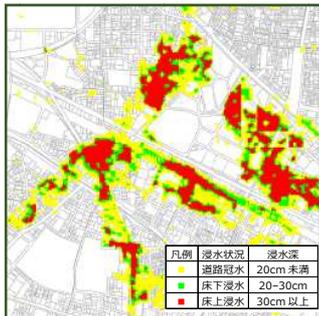
【株式会社明電舎 総務部 広報IR担当】  
TEL: 03-6420-8100 FAX: 03-5745-3027



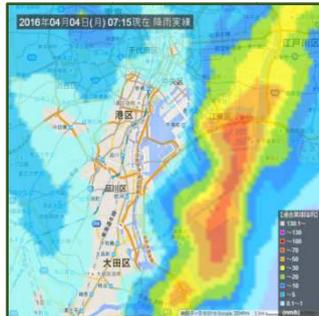
# 主な機能のご紹介

## 雨水管理機能

## 情報共有機能



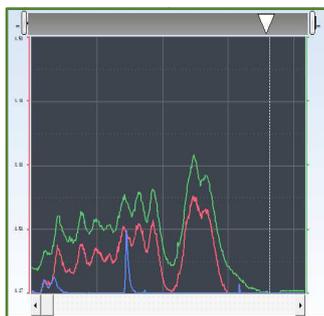
浸水危険度の表示  
(リアルタイム浸水ハザードマップ)



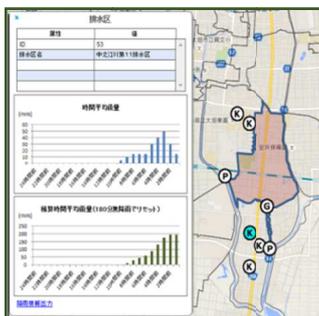
降雨状況による色分け表示



各マンホールの標高や管きよの深さを考慮した  
管路断面図に水位を表示(管きよの許容量表示)



管路内水位の推移グラフ表示



過去 24 時間の降雨量・積算雨量  
の推移グラフ表示 (現況と予測)

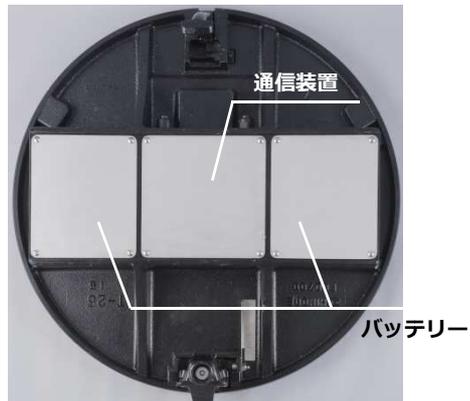
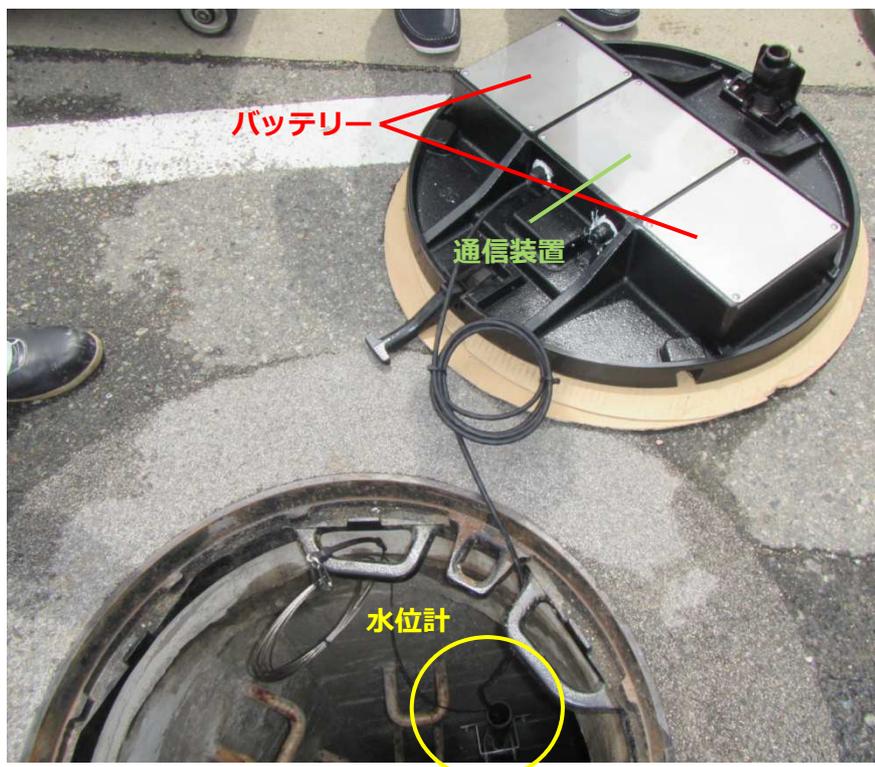


予測水位・流量の規定値超過、  
観測水位によるアラート  
メール配信



現場の状況を写真・動画や  
コメント登録

## マンホールアンテナ取り付け例



### ◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

【株式会社明電舎 総務部 広報 IR 担当】

TEL : 03-6420-8100 FAX : 03-5745-3027

※記載されている製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※マンホールアンテナは、東京都下水道サービス(株)と日之出水道機器(株)および(株)明電舎との共同開発品です。